

中山間地域の農業を支える若い担い手の育成

県北農林事務所 経営・普及部門（常陸太田地域農業改良普及センター）

常陸太田地域農業改良普及センターでは、青年農業者の経営管理能力向上を図るため、農業学園講座を開催しています。また、個別に課題解決学習プロジェクト活動を実施することで、地域を担う農業者の育成を推進しています。

農業学園講座による新規就農者・青年農業者の育成

就農して間もない農業者25名を対象に、基本的な農業技術を習得するための農業学園を開講しています。

平成25年度は、事前調査で学園生からの要望が高かった「農業機械」や「農業簿記」を取り入れ、計12回の講座を行いました。また、現地研修を学園生の農場で2回実施し、学園生自らが講師役を務めることで経営内容の把握を行うと共に、経営改善について考える契機としました。



先輩農業者の話に耳を傾ける



農業簿記ソフトを使用して、記帳に取り組む

簿記集中講座の開催成

事前調査で多くの学園生から要望のあった簿記講座については、集中的に計4回実施しました。農業簿記ソフトを使用した記帳の方法や青色申告のための処理について、実習形式で行いました。

学園生からは、「自分で入力操作することにより理解が深まった。経営に役立てたい」などの感想が聞かれました。また、集中講座に出席できなかった学園生や、農業簿記ソフトを購入した学園生に対しては個別支援を行っています。

今後の支援

講座終了後には、毎回アンケートを実施しましたが、「自分たちが学びたいことを取り上げてくれたのでよかった」「経営に活かせる部分が多かった」との意見が出ました。また、集合研修を通じて、学園生同士の仲間づくりが促進され、その後の情報交換等につながっています。

今後も事前調査により、対象者のニーズを踏まえた有意義な講座を開催していきます。平成26年度は、新たに県北農林事務所の2普及センター合同で講座を開催し、農業後継者間の情報交換や、ネットワークづくりを支援していきます。



1年間の取り組みを振り返る学園生